婦人新報

七月號

第貳百六拾四號目次

□報告　谷口ちゑ子
□紅海と峯山より　海老名みや子
□何をなすべき哉　千本木道　カントレット恒
□吊故井上東京府知事　守屋東
□初旅の懐ひで　宮川靜枝
□文明と壽命　みどり
□銀の甕（短歌）　安中花子
□家を持たんとする若き人々に　淺田みか子
□社會改造と矯風會　宮崎小八郎
□三つの手紙　矢島楫

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產婦人科
小兒科
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

□婦人新報定價(郵税共)
一年分(前金) 金壹圓也
半年分(前金) 金五拾錢也
一ヶ月分(前金) 金九錢也
(郵券代用一割増)

□廣告料
一行(五號活字) 金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九
編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正八年七月十四日印刷
大正八年七月十五日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 藤井孝
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地
婦人矯風會事務所
印刷所 福音印刷株式會社
東京京橋區銀座四丁目

N.o 264 July, 1919

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. The Three Letters .... Madam K. Yajima.
2. The W. C. T. U. and Social Reconstruction .... Rev. K. Miyazaki.
3. To Those Who are About to ake Home .... Mrs. M Asada.
4. Poems .... Miss H. Annaka
5. Civilization and the Lengths of Life Midori
6. I Hear the Groans of Darkness. .. Miss S. Miyagawa.
7. Alas, Our Late Governor Inouye.. Miss A. Mori a.
8. What Shall We Do? .... Mrs T. Gauntlett.
9. From the Treasury .... Miss Senbongi.
10. Note From the Red Sea .... Mrs. Ebina.
11. Work in Mineyama .... Mrs. Taniguchi
12. Reports ....

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,

Tokyo, Japan.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三つの手紙

會頭　矢島楫

避暑地

或る新聞社からハガキで、此夏は如何なる處を選んで避暑なさいますか、との質ねでした。私は三ヶ條に別けて返事しました。

「一、物價が半額位で暮せる處、
一、健康地、
一、涼しい處、
なら行きませうと考へてゐます。然し未だそういう處は見つかりません、此處一寸行きなやみといふ形です」

猶面會してお意見が伺ひたいとありましたから、二伸に、「先頃やりそこないまして身をまだ健康に復しきらずに居りますので午前中ならおめにかゝりませう、が、眞直には座つて居りません、横に長く座つてをります」と申てあげました。考へて見れば、私も逝なつた德富の姉のあとをついで床の中の生活を必要とするやうな時になつて來ました、出來事に直接關係せず影にあつて祈を捧ぐる責任を與へられたやうです。

「祈禱題」

一通の書狀は床上の私を一方ならず喜ばせました。差出した方は存じませんが、「祈禱題」としてありました、其書面には祈りの時日と題目とが明記してあります、一、吾等が敬愛する皇室に聖書が入り、讀まれ、主の福音が宣傳せらるゝ日の近づきつゝある樣に、靈感せられる何卒其日其時の速かならんことを、

一、朝鮮に於ける暴動問題の如き支那に於ける排日問題の如き外にありて幾多の國際問題あり内に在つては勞働問題或は民主思想問題あり内外共に多事なる際特に主のお力が加はり彼我共に正しく賢こく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

解決せられて事件一問題に逢着する毎に、心靈的に神より御教訓を受けて一段の進展をなし得る樣、此二つの題目の爲に六月廿八日—七月二日迄午前六時に祈る、とありました。其日其時の近からん事を時を定めて祈るといふ事は實に有難い事と思ひます、斯の如き事は永い年月生を受けた私にとつては此上もなく喜はしい事で感謝であります。今の私としては適切なる賜物として心を込めて祈つてゐます。如何なる反響が此二錢はつた郵便物の結果として信者間に表はれて居るか知りたいものと思ひます。

左書きの日本字

友から婦人新報編輯者御中として御親切な手紙を受けました。即ち「婦人新報を手にする毎に、心に掛かるのは表紙が左書で中が右書である譯です、何の爲に表紙丈左書になさるのか、最後にある英字に合はする爲とすればおかしな事で、日本字はやはり右から書いた方が好いとおもひます、——」と理をわけた御手紙を頂きました。實は斯ういふお手紙をうける事をお待ちして居りました。私は早く眼を病んで醫に盲する事を宣告されて四十余年、其間につく〲考た事は眼の使方でした、日本の字は縦に讀むやうになつてゐますが、これは非常な害だとおもひます、眼の位置が左右ですから字は左右に讀むが順序だとおもひます、さうと思ひついたら實行するに限ると考へました。然し習慣として人々はなか〲受け入れて下さいません。そこで近頃人から書を依頼されますと必ず左から横に書く事にいたしました、また婦人新報の表紙も私に字を書くやうに相談會で決してましたから二年前の號から左書にいたしました。若い人達の中になか〲反對はありましたが私は信じて實行しました。いつかは其内容の文面も此形式に改める日が來るやうにと思ふて居ます。御注意下さつた方に對して甚だ其意を諒せぬやうで御座いますが、私は信じたら實行するといふ主義から此事に至つたといふ事を知つて頂きたいとおもひます。御親切な御注意と御厚意とは萬々感謝いたして居ります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會改造と矯風會

牧師　宮崎小八郎

改造に先つ大破壞

千九百十四年八月より昨年十一月十二日の休戰に至るまで世界は大破壞を行つた。之が爲に參加せし國は廿八ヶ國、戰費千四百七十億弗、戰死者七百八萬五千人負傷者五百十七萬五千人に及ぶと云ふ。何の爲の破壞であるか。その結果より見て我等は之を世界改造の爲の大破壞と見るのである。昨今門司市の大通りに幾多の家屋が破壞せらるるを見る。尙使用に耐ふるものを何の爲に惜氣もなく之を取毀つのであるかは云ふまでもなく明である。更により善き建築をなさんが爲である。門司市の發展に伴ふ設備をなさんが爲である。世界の大破壞も更に偉大なる文明を産み出さんが爲であり、人類の幸福を確保せんが爲である。世界を根本的に改造せんが爲である。改造にして完成さるるならば破壞如何に大なりと雖も我等敢て之を失敗として悲むに及ばない。

講和會議

改造の第一着は佛京に於る講和會議に始まつた。會議の內容は多岐に亘つて居る。されどその重要事件の一は國境の變更、改廢である。歐羅巴の地圖は全然新に書かるる事となつた。日本も南洋に於るマアシャルカロリン群島の管理權を得し外支那山東省問題に於て戰前獨逸が有せし權利を獲得した。之は東洋に於る改造の一たるを失はぬ。されど此の改造が日本の爲に利益であるやは一考を要する。

日本は東洋の盟主をもつて任じて居る。之が爲には支那四億の民心を無視する譯に行かぬ。日支親善は日本國是の一として官民共に之を承認して居る。之が實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現に焦慮して居る。然るに今や山東省が日本の勢力範圍に歸せし爲支那人は猛烈に日本排斥を行つて居る。その勢力侮るべからざるものがある。或は恐る日本は山東省を得て四億の民心を失ふが如き結果を見るに至らざるかを。山東省を獲れば尙可なり。之は繰返して支那に還附すべき事を宣言したる所であるから當然還附せねばならぬ。然らば何等得る所なくして失ふ所は實に大なるものありと言はねばならぬ。支那人に對して威望を失墜せば如何で東洋の盟主たる實を擧ぐる事が出來やう。三億の印度人と雖も敢て日本に信頼すまい。斯く考へ來れば山東問題の如き俄に我に利益なりと斷ずる事は出來ない。

勞働規約を如何

講和條約中に勞働規約の一章がある。そのうち次の細目がある。(1)未だ實施せざる所に於ては一日八時間或は一週四十八時間の勞働時間制を採用せしむ。(2)實行不可能の箇所には日曜日を含み少くとも一週廿四時間の休暇を採用せしむ。(3)子供の勞働を廢止し未成年者の勞働は其教育を繼續せしむるやう制限し。(4)男女勞働者は同等の勞働に對して同等の給料の支給を受くるを原則とす云々と云ふ事がある。

斯る細則が早晩日本に於ても實行せらるるに至るとすればその結果は如何であらう。此は單に經濟上の問題ではない。確に道德上の問題である。現今の如く各工場、會社等に於て十二時以上も勞働せしめ居るのを一朝八時間勞働に改むるとすれば、著るしき能率の增加なき限り工場主は多大の損失を招かねばならぬ。工場主だけの損失ならば尙忍ぶべし、されど之は延ては國民、國家の損失となる。外國の製品、競爭して之に負け世界の市場から日本の製品が驅逐せらるるに至る前提である。然らば日本は特別の國情ありと云ふ理由で此等の細則實施延期を請ふべきであるか、五大强國の一なる態面上から考へても之は容易であるまい。

對應策として

之に對應すべき道は唯勞働者の能率を增進するより外にない。勞働時間の長さのみが製産率の高き所以で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はない。短時間でも勞働者にして能く勤勉ならば長時間にして緩慢なる勞働者に優る能率を示す事は困難でない。然らば勞働者の能率を増進する道如何。與へられたる休息の時間を適當に消費すべき事である。即ち夜間は充分の睡眠をなし、酒を禁じ、且つ精神上の修養をなす事が肝要である。日本の勞働者は多く與へられたる休息の時間を飲酒に徒費し又は勝負事などに耽り夜更しをなす。翌日の勞働に於る彼等の能率は甚だ惡い。單に勞働者の員に加はつて居ると云ふに過ぎないで、殆ど仕事に堪へないやうな者もある。休息は修養なき勞働者に取つては反つて有害となる場合がある。日本が社會上の改造をなすべき今日に於て最も急を要する者は即ち勞働者の精神を改善すべき事である。彼等に家庭を尊重すべき事を知らしむべきである。子女の教養の大切なる事を自覺せしむべきである。子女の教養に取つて欠ぐべからざる事はその兩親が朝夕子女と食卓を共にし談笑する間に大なる感化を與ふる事を思ふて自ら模範を垂るべき心懸を抱かしむる事である。善良なる子女を養成するは善良なる國民を造る所以である、國家としても之に多大の注意を拂はねばならぬ。

思想上の問題

思想問題に就てはデモクラシイとヴォルセヴズムとを擧げねばならぬ。而して多くは前者を迎へて後者を斥ける。何となればデモクラシイは世界改造の基調である。軍國主義、專制政治、又は官僚政治より解放して民主政治となし、國民本位となすのが現代の要求である。然るにヴォルセヴィキは極端なる共産主義で專ろ狂暴なる專横を擅にするが故に現代人を滿足せしむる事が出來ない。露國の實例に徵するに國家の存立を危ふすべき過激の思想である。一昨年露國が獨逸と單獨講和を締結せし時、露國は甚だしき不利な條件を課せられた。その時レニンは言つた露國は武力に於て獨逸に屈したけれど、思想に於て露國は獨逸を征伏するに至るを疑はぬと。彼の豫言は適中した。昨年十一月休戰となるや間もなく獨逸帝國は解體した。新に獨逸

共和國が起つた。過激派の思想が行はるゝに至つた。今や太西洋を横ぎつて米國にもプロパガンダが行はれて居る。米國には過激思想は根を下すべくも見えない。太平洋を渡つて日本にもその波動を及ぼさぬでもない米國に於けるとは異りたる理由によつて日本にも過激派はその立場を見出さぬであらうと推察せらる。されどペストよりも恐るべき此の思想に對して相當の警戒を加ふべきである。社會の改造を要すべき現代に於て斯る思想が世界に瀰漫して居ることを看過してはならぬ。

社會改造の根本

世界の改造に際し我國に於ても政治上、産業上、思想上、改造すべき幾多の問題があらう。されど如何なる大建築をなすと雖も若し其基礎を砂上に据ゆる如き事をなせば一たび雨降り、風吹かば忽ち根底より動揺を來す。政治、産業、社會の方面に關して改造を加ふるも若しその根底たるべき人心にして依然として改まる所なくんば恰も賽の河原の石積み同様徒勞の仕事に終はる。大建築には基礎工事が大切である。二間半乃至三間の丸太を地下に打込んで堅める必要がある。社會を改造するに先つて人心を點検すると爰に國民性の缺陷とも云ふべき「誠實の缺乏」を發見する。之が爲に日本が不利を蒙り、誤解を受くる事決して尠少でない。支那が何ぜ國恥だと云つて大騒ぎをなし日本品をボイコツトするか。日本は何日か膠洲灣を支那に還附すると明言して居るではないか。彼等は日本が言責を守るを思つて居らぬ。彼等は思へらく、日本は還附すと言ひながら何等かの口實を設けて遂には朝鮮、若くは滿洲のやうに山東省を日本の勢力範圍となして了ふに相違ないと。爰に日支間の悶著がある。朝鮮の水源事件でも誠實缺乏の適例である。日本字新聞の記事は悉く同地の基督敎徒、天道敎徒が暴行せしが故に我が軍隊は正當防禦として發火して四十名を斃し且つ家を燒いたと報じて居る。されど事實は之に反して居る、米國宣敎師は直接長谷川總督に面會して言質を取つて居る日本人を詐き得ば事の眞相を掩ひ得たりと考ふるが如

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きは恰も耳を掩ふて鈴を盗むに類す。日本の商品は海外到る所に不評判である。その理由は言ふ迄もなく製造者に毫も誠意を認むることが出來ない位粗製濫造の爲である。鉛筆は兩端に鉛筆が缺つて居るだけで中央には充實して居ないのがある。マッチには火藥の塗つてないのがある。竹細工は殆ど其場限りのもので長き使用に適せぬ。歐米の商店は日本品を取扱ふを厭ふて居る。止を得ず日本品を取扱ふ商店では之を支那製と云ふやうな口實を設けて居る者もある。支那製にも劣る取扱を受けるのが東洋の盟主たる日本國の製品である。商品ばかりでない日本人そのものが誠實を缺くとして排斥せられて居る。日本人排斥には排斥する側に於て惡い事も多い。されど又排斥さるゝ日本人にも反省すべき幾多の缺點がある。その一は即ち誠實缺乏である。海外に出稼する同胞の實際を見れば辯解せんとしても其言葉を見出さない。東洋の君子國として大に任じて居る國でありながら世界到る處に所謂娘子軍の跋扈を見るは之も不誠實の廣告である。醜業婦は海外に日本を紹介する代表者のやうに思はるゝ地方すらある。實に嘆息の至りである。

國民の日常生活に就て考ふるも誠實の缺乏は掩ふことが出來ぬ。誰しも二重生活を營まぬものはない。實力なくして無暗に見得を張ることを好む。少量の菓子なるに之を大量に見せたいとの考から揚げ底をなし、菓子箱のみ徒に大きくして内容は甚だ貧弱である。あげ底的の不誠實が日本人の大缺陷ではあるまいか。之が日本をして世界に信を失はしめんとする禍根ではあるまいか。

矯風會の事業

爰に矯風會の使命が存して居る。世界大改造の今日我國の社會を改造するに當つてその根本たる基礎工事をなすが急務である。婦人矯風會は大に任じて國民性の缺陷たるべき誠實の缺乏を矯正すべきである。或は問題餘りに大きく婦人の力到底之を能くする事が出來ないと感ずる人あるかも計られない。されどそは杞憂に過ぎない。精神の存する所に方法は伴ふ。

英國のチャヌダアクと尊崇さるる看護婦ケベル孃を見よ。彼は千九百十五年の秋白耳義に於る一病院に看護婦として英佛軍人を看護したのみならず大に盡す所があつたので遂に殘虐無道なる獨逸の爲に銃殺の死を遂ぐるに至つた。之が英佛軍人に及ぼせる感化力の偉大なる事は千百の政治家の雄辯宏辭も遙に及ばぬ程で惰夫をして起しめた。當時英佛軍人はケベル孃の爲と云つて大に軍紀を振粛した。彼の遺骨が五月上旬倫敦に着するや皇太后アレキサンドリヤ陛下親しく臨場して之を迎へられたと云ふ。之は彼の死が英佛軍をして最後の勝利を得せしむるに與つて力あつた爲である。一婦人にして尚且つ然りとすれば日本婦人の團體たる矯風會豈社會の改造に貢献する所なくして止まんやと言はねばなりませぬ。

更に露國のバブスカとして知らるる革命婆さんブレスコブスキイを見よ。廿五歳より七十五歳の今日まで彼は一日と雖も露國農民の改善を思はぬ日とてはなかつた。無資產階級の者に同情せぬ事はなかつた。彼は之が爲に西伯利亞に謫せられ冷き牢獄生活を續けた事も長かつた。彼は幾多の艱難と戰つた。零度以下四十度の寒冷とも戰つた。されど一言の苦情を訴へない。彼は同胞スラブ民族の爲に犧牲となるの精神に盈ちて居る。彼は曰ふ「私は過去十年間即ち千九百五年乃至六年の革命後今日に至るまで賄賂によつて腐敗せる國民の道德を振粛せんとして戰つた。露國政府は出來る丈國民を腐敗するやうな事をやつた。加之、國民の社會的一致を破る事や、共同の責任を避くる事をやつて來た。之が爲には賄賂を用ひた。ザアから巡査に至るまで皆誰かに買れて居ると」爰に露國の不誠實があつた。ブレスコブスキイは之を矯正し改造せんが爲に戰つた。遂に彼は勝利を得た。

彼は何處に其動力を得たのであるか。再び彼をして語らしめよ「私は母の部屋に於て一冊を見出した。未だ讀むことを知らぬ私は繪を見て樂んだ。後日に至つてそは有名な羅馬の婦人パアバラスの傳記である事が解つた。彼女は一日職人が立派な浴室を造りつゝある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を見た。そこに二ヶ所の窓戸がある。彼女は職人に向つてなぜ三ヶ所にしないと問ふた、貴女の父上が二ヶ所を設けよと命じなさつたと答へた。バアバラスは曰く神は三位一體であるからそれに象つて窓戸も三ヶ所であるべき筈だと强ひて職人を納得せしめた。後日に至つて不信者なる父が之を見出して娘を責め且つ信仰を棄つべきを迫つた。彼女は鞭打れても、燒かれても其信仰を變へなかつた。遂に殉教者の死を遂げた。娘心に自分も此のバアバラスのやうな健氣な、强固な意志の人となりたいものと願つた。何日でも困難に遭遇する毎にバアバラスの事を懷ふた」と。バアバラスを學びたるプレスコプスキイにして倘且つ彼の如き大事業を遂行する事が出來た。バアバラスをして殉ぜしめたる我等の主耶蘇を信じ、自ら小基督をもつて任ぜんとする幾多の信徒が團結せる此の矯風會にして誠實誠意以て社會の弊風を打破し、爰に一改造を企つるに當つて何の不可能が之あらう。戰後の經營につき國家甚だ多事なる今日社會改造に任ずべき矯風會員諸姉の奮起活動を冀ふ。

銀の甕

安中花子

しかすがに思ひ起すもわびしけれ、昔こぼちししろがねの甕。

みづからに戰を持つ此の身なり、恨みたまふな石の心と。

卑怯の子、此のよろこびを苦しさと引きはなちてぞ持たまく願ふ。

千萬の人の中なる唯ひとり、其の一人にすがれる心。

あな寂し、空の遠きを仰ぎては日毎夜毎にそゝぐ悲しみ。

我が心やゝなごみ來ぬ、五百年を幹に潜めし大木あふぎて。

何を待ち誰を待つ我ぞ、幾たびかけふも門邊にたゝずみてけり。

其の昔のむすめ可愛や、思うては火にも水にも怖ぢざりしとふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家を持たんとする若き人々に

淺田みか子

質素に堅實に

親はどれ程財産があり、又どんな立派な地位があつても、それは親のもので、子供は身一つの外、何もないものであるといふ感念を、子供等に持たせて、貧家の子も同じであるから、親の威光を笠に着て、誇るべきものではない、と云ふことを、よく〳〵子供等に呑み込ませておくと共に、また質素に育てたいもので御座います。

小さな借家住ひの侯爵令息

私のもと住つて居た家の近所の小さな借家に、ある侯爵の公達の三四人が、雇人二三人に預けられて、質素な、平民的な、生活をさせられて居りましたが、侯爵は、大に考へのある御方と私は感心致しました。富豪名門の子弟に、人物の出來難いのも、逸樂に耽つて居る家人の中に、育てられるのですから、當然のことと思はれます。

我儘に育てられた富豪の息

或る夫人が二三人の學生を預かつて居られましたが、其學生等に就て、次のやうなお話がありました。

『一人の學生は、儉約などいふ精神は少しもなく、唯意の向ふがまゝに、平生行つて居り、電燈なども點け放しで、朝も日が高く上るとも、消さうなどいふ心はない。依て一度誡めて「あなたが暗い室に眠るといふ習慣ならば、寢る時に二燭光位な電球と代へたらよいでせう、眠つて居る間終夜十六燭光を點けておくのはつまらぬことではないでせうか」と申しました時「承知しました」といふにはいひましたが、矢張り電球を代へるのが面倒と見えて、實行致しません。萬事が此

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

通りで、其金錢を冗費することを、何とも思てないのでありますが、いくら誡めても、一向きゝめがありません。よく聞けば此學生は、兩親ともなき、ある富豪の孤兒にて、雇人等に我儘に育てられたのでした。かうして中學時代までも、意の如く行ひ來りました故に、もう改むることが出來なくなりましたものと見えます』。

子供の良否は家庭による

他の一人は誠に無性の人で、室の亂雜、手足の不潔を少しも氣に致しませんのみならず、疊建具を汚損するといふことも、一向おかまひなしで、家を大切にするといふことを少しも知りません。この人は借家にのみ住つて、成長した學生でありました。

他の一人は是等と反對で、自分の室を大切にして、丁寧に清潔に住ひ、書籍器具等一物も歪んで置くといふことなく、袴の如きも正しく疊んでおき、食物なども、つゝき散らして、食べ殘すなどいふことはなく、折々は不味いものがあつても、綺麗に盡くして、見苦しくないやうにしておく、といふ風で、實に立派な人格の學生でした。

『あなたは有福な御家庭にお育ちになりながら、どうしてさう我儘でないでせうか』と問ひましたら、笑つて『父母が嚴格な人々ですから』と答へたさうで御座います。實に人の子供等を預つて見て、其育てられた家庭のさまが、よく解るといふ御話しで御座いましたが、家庭の良否は、其子供を善くも惡しくもすると思へば、恐ろしいやうな氣が致します。

光圀卿の遺跡

私はある春、水戸の公園に、子供等を連れて遊びました。其所には光圀卿の遺志がよまれて、實に感心致しました。公園は山の上の廣き地にありまして、東北に杉林を造り、東南は梅園、南方は芝地、西南は好文亭といふ配置で梅林は朝日に梅の匂ひも床しく、北方に杉林のあるために、好文亭と芝生とは暖かに其樓に登つて見ると、左には眼下に仙波湖が鏡と輝り、右には松林鬱蒼として繪の如く、正面は一眸水田にて、

農夫等が粒々辛苦の樣も見られ、鳴く蛙の聲に詩趣をもそそるなるべく、自然の風景を庭としたる此亭には卿が文人墨客を集められて、遊ばれたと聞く室の板戸には、韻字を盡く書き付けあるなど、光圀卿一流の實用的の心も見られました。

卿が居室とせられしと聞く六疊の室には、床の間さへもなき質素さにて、椽先きの庭には、特に人工を施したる美もなく、固より珍石奇木といふ程のものもありません。ただ芝生の上に圓形の躑躅の點々とあるのみであります、華を去り實を重んぜられた其心の見えるのを、子供等にもよく説明したことで御座いました。

櫻を植ゑずして梅を植ゑられたのは、實を得らるゝの利益あるためで御座います。自然の風景を庭として、人工の勞を費されざるは、奢侈を誡められたので御座います。好文亭の建築の質素なるは、勤倹を示されたので御座います。斯る教訓ある事跡を民に遺されたといふことは、人民の幸福で御座います。

虚榮心を増長させぬやうに

世の中が日一日と贅澤になつて參りますので、家庭では質素にと思ひましても、お友だちのうちに、新流行の派手な服装をして居る方がありますと、子供といふものは、其眞似を致したくなります。母親が家庭で備へたものは、氣に入らぬやうになり、あれやこれやと注文致します。かういふ時には母親の情として、遂には子供の熱心に負かされて、注文のものを拵へてやるやうになります。がこれが子供の心を虚榮に導く初めとなることと思ひます。

學校によりますと、一定の規則があつて、綿服でなければならぬと致してありますが、母親は地質が木綿でさへあれば、言ひわけは立つものとして、非常に派手な模様のものを用ひたり、洋服になれば、多くのレースなどを付けて、母親の虚榮心を滿足せしめ、子供等の虚榮心をもそそり立てます。一體綿服でなければならぬといふ主意は質素にして人目に立たぬやうに、穩かな眞面目な心を養成させたいといふ本意でありまずから、たとへ地質は木綿であらうとも、派手なものや、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下品な模様のものは慎まねばなりませぬ。併し學校の當局者からお談を聞いて見ますと服装を質素にと注文しても、なか〳〵行はれがたくて、ほとほと困つて仕舞ふとのことで御座いますが、當局者の注意を受くるまでもなく、家庭で卒先して實行するやうに改めたいもので御座います。學課の教授に忙はしい教師がたに、服装の世話まで燒かせるといふことは、お氣のどくの至りで御座います。また母親としては恥づべきことであります。

子供の服装に付て母親の苦心

先年からいふことをきゝました。ある夫人の話に「私の郷里は織機の名所で御座いまして、其處で出來た反物は、十年廿年と着晒しましても、少しも色が剝げぬといふ丈夫なもので御座います、夫人や子供のために特別に上等に注文して織らせては着せておきましたが、東京で流行する柄とちがひますので、子供等は其着物を嫌いまして東京風のお友だちが着て居るやうなのを着せてくれと申しました。勿論買つたのは二三年たてば、おきに着られなくなります。そこで其夫人は、なぜあの價値のある着物を嫌つて、あの弱い質の流行するものを好むか、即ち人眞似をしようといふ虚榮心に外ならぬのである。物の眞價を極めずして、表面上の體裁をのみ好むやうな浮薄な心で、此世に處して成功するものではない。實を捨て華を取つても、人の眞似をしたいといふやうな、そんなつまらぬ心を持つて居つては、折角教育しても何の效果もあるまい、人と違ふ衣服を着て居つても、人が何といつても、眞實自分がよいと思ふことをして居れば、それで宜しいのである。人の眞似をしたり、人のおもわくを憚つたりして居つては、世の中に立つて何も出來るものではないと申しました。

此話を校長先生が聽かれて申さるゝには實に結構な教育法である、かゝる保護者のあることは、本校の光榮とする處であると申されました。これを聞いたる子供は、其後は却て東京風の着物よりは、國元風の着物をきせてもらひたいと申すやうになりました」とのお話でしたが、かういふことは、家庭と學校と聯絡して子供等を奬勵するならば、效果があるよと思ひます。

學用品に於ても

學用品でも無駄に使はぬやうに敎へたいものです。半紙の使ひ方、帳面の書き方などが、白い處を澤山殘して置かないやうに、必ず書き終つて後に、新しきも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のを與へる、鉛筆でも墨でも短かくなるまで使はせる、使用に堪へぬやうにならなければ新しきものを與へぬといふことにしたいと思ひます。

品質に於ても値の安いものよりは、持ちもよく徳用であれば、價は高くても、結局利益だからと教へて、それを買つて與へる、只華美なるものゝために、高い價を拂ふことは誡めねばならぬといふやうに申しますと、子供等は自然と質素を好み、眞面目なことを悟るやうになりますから、家庭でさへ質素堅實な育て方をするならば、子供等は其精神にならぬことはなからうと思ひます。

不良少年にせぬには

家庭で不良少年を造るほど、親たるものの失敗はありませぬ。是に反して善良の子弟を育つるほど、人生の幸福はありませぬ。さて不良少年を造らぬやうにする根本は、家庭を少年の樂園と思はしむるのであります。

學校の課業が終つた時、家へ歸るのが何よりも樂しみであるならば、惡友が誘つてもこれに引かるゝものでは御座いません。もとより誘惑に勝つ確乎たる良心は無論必要でありますが、まづ常識のあるものならば、家庭へ歸るを樂しみにして居る心があれば、容易く誘はれるものでは御座いません。

過日新聞でも見ましたが、ある上流の家庭の息が、家出した原因は、家庭の不良に基くとのことでした。

どうして家庭を樂しくするか

第一には心身を慰むるに足るほどの家の外の風景、庭園の樹木草花などの美觀です。

第二には居室の裝飾等心地よげに愉快に便利に思はしむることです。

第三家人の温情春風の如くに感ずることです。

第四空腹を癒すに足る甘味なるお八つを備ふること。

第五好める娯樂品、運動遊戯等の裝置。

第六ピアノ、オルガンの如き樂器を備ふる事、これは啻に娯樂のみに止まらず音樂に趣味を持ち天才を發揮する事もあるものです。

是等の事が意に叶ひ居るならば歸宅を樂しみとして外に誘はれて、惡友の仲間入をするが如きことは、まづないと存じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文明と壽命

壽命の平均は

お互に何年まで生きるのでせうと誰れも考へます。文明が進むにつれて長壽者が少なくなるといふのは如何いふわけでせう。とにかく天壽は全うされるべきもので、全うしないのは何等かそこに不自然な點があるからでせう。大隈侯は百廿十五才を主張され、我會頭は別に主張はされませんが、默して長壽を示して居られます。隨分有用な才を以て若くして逝く人もある世の中です。

お年には御不足はありませんと悔みに來た人に述べられる死者もあります。然し平均して日本人は何才位の壽命を持して居るものかと云ふ時には、統計によるより外はありません、此表によれば、日本人はよほど氣をつけて長壽といふ事に對して研究する必要があります。

○日本人の壽命平均（廿四年間）

明治十九年　男　三八年一、三　女　三八年九一

明治四十三年　男　三〇、九九、　女　三一年三六

（廿四年間に男七、一四、女七、五五の割合に短縮）

○歐米人の壽命平均

國名及年記		男 年	女 年
一、瑞典	一八九一—一九〇〇年	五〇九	五三六
二、丁抹	一八九五—一九〇〇年	五〇、二	五三、二
三、佛蘭西	一八九八—一九〇三年	四五、七	四九、一
四、イギリス	一八九一—一九〇〇年	四四、一	四七、七
五、北米マサチユセツツ州	一八九三—一八九七年	四四、一	四六、六
六、以太利	一八九九—一九〇二年	四二、八	四三、一
七、プロシヤ	一八九一—一九〇〇年	四一、〇	四四、五
八、印度	一九〇一—	二三、〇	二四、〇

世界で印度人が一番壽命が短かく、次が日本人です。日本人と瑞典人との差は二十年もあります。日本人は非常に短命になつて來て居ります。

其原因も種々ありませうが結核病や花柳病の多い事は其原因の一つでありませう。また酒は花柳病や結核病に直接間接に大なる原因となつて居ります。今度の世界に於ては健康と長壽とは大事な要素であります、顧みてそれ等の妨けとなるものはとりさらなければなりません。

結核と女工

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一年に八萬人の新女工が種々なる方法によつて勸誘され、また申込み勞働賃銀を得るものとなつて其家を離れて各工場に入つて行きます。彼女等は勸誘者から工場の完備した設備を聞き、勞働賃金の額の多きを信じ、工場主の温情を歌ひつゝ勇んで女工となつて行きます。然るに事實は想像と反し夜を日に換へて迄の勞働はのび〱した田園に育つた體質を一變して一年の後には一萬三千人の多數は肺結核の患者となつて故郷に歸ることになるそうです。肺結核になつてゞす。田園生活の單純にして悠長なる彼女の家庭にあつては結核の恐ろしきを知りません、故に其歸り來つた娘の病を別に驚かず、むしろ働き得ない事をせめるのです、そして何等の豫防もなく充分なる處置もとらずに、ひたすらに自然の成行にまかせ、健康なる他の子女、また兩親と起居飮食を共にするのです、其間に結核菌は猶豫なく傳播して他を犯してゆきます、國として最も健康者を多く有して居るといふ農村は是等憫なる娘等の爲に恐るべき病菌を散布され感染し共に斃れるのです。斯くして家は、村は、病菌の荒るゝまゝに荒らされ、遂に國に及び民族を犯して行きます。人口の繁殖よりも健康にして長壽なる優秀者を待つ今日であります。然るに今我國は結核患者を出す事世界第一の率を示し、早死に於ても世界第二の國民となつて居ます。女工の生活の改善は論を待たず、各自日常生活に於ても此病毒の蔓延を豫防し、除去する爲に一致協力せねばなりません。

道路と咯痰

東京や大阪のやうな繁華な埃の多い町は云ふまでもなく、美しい野路の往來にさへ、注意しなければ思はぬ時吐きすてられた啖に足を、また裾をよごします。風のたつ日や乾ききつた日などには、是等の吐き出されたものから分離して空中に遊離する黴菌は如何程多いことかわかりません、健康體であれば何も恐れることはないと一口に申ますが、決してなをざりにすべきことではありません、一人の結核者が吐きすてた啖が含む病菌が、何人を殺すに至るか思ひ半ばに至るでせう。結核豫防の講演を聞き、また道路の吐啖を試驗した時に實に病菌の多數に戰慄するのです。例へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結核菌を有する啖でなくとも、一歩進んで道路は「我家の椽側なり」「我家の庭なり」と考へたならば、しだらなく何處でも彼處でも啖する事は出來ないとおもひます、社會的德義としても私共はやめなければならぬ事であります、然しこれも習慣性になつてしまふと罪惡とも何とも思はぬやうになります、子供の時から充分敎へ導いて、恐るべき此社會的罪惡から離れ得るものとしなければなりません。公園を歩いても啖壺がなかつたと言ふた婦人がありましたが、實際是等の設備が足らないと思ひます。

結核と女子

結核で死亡する率が、男子よりも女子が多いのです、而も十五歳―廿五歳迄の靑年の結核死亡者が、我國全結核死亡者の三分の一を示して居るのであります、そして其率も男子より女子が多いのです、其原因は種々ありませう、前述した女工が此病氣に罹るもの丶多い事も率を增す事でせう、此位の年のものは病勢が一時に進んで死亡する者が多いことも一つの原因でせう、然しとにかく一番大切なこれからといふ靑年を失ふ事は國民として此上もない損害です。特に婦人が多いといふ點はよほど考へなければなりません、一體日本の社會は家族制度の弊として婦人に重きを置かない習慣があります、その爲種々の損害を男女とも蒙むつてゐます、重きをおかれて居る男子は女子が弱いために苦しみ、また體質の弱い子孫を殘すやうになるのは皮肉な事です、男子を重ずる爲には如何しても婦人を重じて行かなければなりません、主人にのみ美食滋味を供し、妻君や母親は鹽物か漬物で事すまして居る家庭や、家長の病氣には金錢をおしまず名醫を迎へ、子女の母病む時は町の藥やに十錢十五錢の一包を求めて治療しやうといふ實に片手落な家庭制度では、日本の婦人に病者、弱者、不健康者を出すのは當然な事です。我等婦人としては凡ての習慣を打破しても此病毒を除去する爲につくし健康なる心身を子女に殘さなければなりません、忠實に豫防が行はれ、各自が良心の樂しむ行爲に日を送るに至るときは、いかに文明が進歩しても、文明と平行して長壽を得る事は自然の事と思ます。

―みどり―

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初旅の憶ひで

シベリヤ視察員お件の記

二

三度目のどら鐘が鳴った。

何といふ陰欝なそして單調な響だらう。其響は重苦しい船内の空氣を一層沈んだものにした。甲板から海面へ流れた響の末は波の小皺の中に吸ひ込まれて行くやうに何時となくかすかにかすかにかすかになつて行つた。私は外套の耳をたてながら甲板に立つて、二日の旅を共にすべき人々を默つて見てゐた。小さい時から道行く人々を永い間ぢつと見守つてゐて少しも倦まなかつた私には、人の顔はやつぱり興味深く思はれた。甲板にゐるだけの人々の中にも、實業家や會社員や妹とも愛人とも思はれる若い婦人を伴れたロシヤの軍人や、さてはこんな人が日本の恥を曝すのだらうと思はれるやうな婦人もゐた。

出帆と言つてもしづかなものである。見送る人も見らるゝ人も少く、港の全體の調子が低く靜かである。船は次第に岸を離れた。そうして、わびしく降りしきる雪空には荷積みする女達の謠がむせぶやうにきこえた。私は船室に入つて本部から預つてゐた委任狀を二人に手渡した。

斯くて、落付きのない幾時かは過ぎた。夕暮の柔い幕は次第に低く低く降ろされた。そうして夜がきた。人々は食堂に集つた。けれ共、私には新鮮な空氣が何よりも必要に思はれたので甲板に出た。

冷い空氣は氣もちよく靜に流れた。爽な快感！それは寒帶に住む人々のなつかしむ夏の接吻にも類ふべきであらうか。

大空は夜光の淡き彼方に水と語り、月の光はたゆた

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ波のまに〳〵音なき樂を奏でつゝ憧れの眼を閉ぢて踊つてゐる。大海の月の夜は夢もなく現實もなく過ぎてゆく。けれ共空に憧れ地に心ひかるゝ潮には悲しみがあり惱みがある。

夜も更けた頃、ふと眼が覺めると食堂には未だ船員や給仕の話聲が重い沈默の途切れ〳〵にきこえてゐた。「おい、ちつと暴けてきたやうだぜ」濁つた低音が言つた。對手の男は只「うん」と答へたのみで「暴風なんぞ俺なんか馴れつこだ、それよりや勝負の方が大事だよ」といつたやうに四角い肩を一ゆすりした。また沈默が續いた。船客は皆寢靜まつてゐた。船の動搖は次第に烈しくなるらしかつた。けれ共私は間もなく眠つた。私にとつては自分の現在ゐる處がホームでも巢でもあるのだから心安らかに眠る事が出來る。でも一面からいへば、萬里の外に旅してホームに心ひかれてえもいはれぬ寂しさを感ずるといふやうな苦しみもまた樂しみも無いのはつまらないものである。何だか人生の外を步いてゐるやうな氣がする。

「コツ〳〵コツ〳〵」現實が扉をたゝいた、「お食事でございます」何より現實な聲である、私だけは食事をする氣がないから非現實なところに止つた。

午後甲板に出て見ると、いづこの涯も空と水、水や空とも見分け難い漫々たる蒼海は萬古の神秘を藏して事もなげにゆたり〳〵と大波をうたせてゐる。天が下水の上、在るものは只吾のみとも思はれる。

强い翼をもつ海鳥は萬身の力をこめて海面を斜に飛び縱に切つてスイと體を水に吻け、舞ひ戾つては後甲板に群がつた。人なつかしい鳥である。

ふと見ると、今迄氣附かなかつた太陽が兩脚を大海一面に踏み伸ばし、兩手を大空に振り翳してゐた。其顏は己が一日の勞作を讃へ其力を謳ふ男性的な誇に輝き、萬物を叱咤する猛將の自然な野性に漲つてゐる。私はほゝえんだ。太陽もにつこりした。私の胸は躍つた。太陽は其の力强い双腕さし伸して私を抱擁いた。ヴキヤトリスすら聞かなかつた美しい秘め言葉を私は聞いた。――夢と現實の斷崖に立つた剎那。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「あゝ、やつぱり、やつぱりあなたは人間だつた。人の子だつた。あなたは私と一緒に、生活する事の出來ない人間だつた。」太陽は瞼を伏せて獨言のやうに胸の底から鳴り渡るやうな而も低い落ついた聲で言つた。

「さうです、ほんとに私は人間でした。地を歩く爲には足を持ち海を渡る爲には智慧をしぼり生存する爲には劍をとり、恐怖の前には畏縮する人の子だつたのですね。」斷崖の頂き立つてゐた私は言つた。

「さらば」

「さやうなら」

太陽と人の子は失望の中に明日の希望を抱いて別れた。

大海の西へ〳〵と大跨に歸へりゆく太陽の姿は壯大である。萬物は彼を讃へ、海は夕べの歌を唱ひ出でた。一日の終り。再び返らぬ一日の勞作の跡は永久の記錄にしるされた。

息づまりさうに閉ぢ込められた空氣の中に夕暮の幾時かは過ぎて夜は再びおとづれた。夜もすぎた。かくて深い眠りの底から「吾」は再び現實へと歸へつた。見れば、凍つた丸窓の花模樣を透して太陽の光は笑つてゐる「寢坊だな、え？」

愁いて起きあがつた私は閉された空氣を拂ひのけるやうにして手早く仕度をして太陽に會ふべく甲板に出た。

おゝ何といふ莊嚴！何といふ雄大！大空翔る眞白の綿雲をエメラルドで溶いて凍らせた色である。空氣は清澄である。太陽は萬古の礎を踏みしめて莞爾として私を見守つた。其輝く顔には、天上の悲哀と地上の苦樂を味ふ巨匠の面影がある。

私は跪いて眼を閉じた。靈は祈つた。

罪業の惱み多き多くの人々を乘せた船の鐵の舳先は其黑眼を見瞠きつゝ自棄に突き進んだ。純潔な聖者の前に向ふ罪人の勇氣を以つて。

時は過ぎた。船も進んだ。氷は次第に白さと厚さを增した。そうして海の全面から反射する光は天地をこめて眩きばかりに輝いた。見れば遙かの彼方に、透明

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な彼方に陸が見えた。「丘だ！」私は喜びの眼をあげた。丘の麓には白い寺院がはつきり見えた。尖つた塔の頂迄も。

晝は船に乗つてから初めて食堂に出た。それが最後でもあつた。

豫定よりも二時間ばかり早く、午後二時頃に船は浦鹽の港に著いた、船客は甲板に集つた。ミス・クラゲットは「いゝです。空氣は美しいですよ。」と首を外套の襟にすくめながらサッサと出て行かれた。林さんは、「やれ／＼著きましたなあ」と言ひながら命がけの重い黑羅紗のマントを著、足の三倍程もありそうな上靴をつけ、やをら跪いて「さあ感謝いたしませうね」と言ひながら乘船の時と同じ姿で感謝の祈りを捧げて下さつた。それから私は外套を著け頭巾を被り手袋をはめて、ボーイさんに荷物の運搬を頼んだ。「これも持つて行きませうかいな」黑マントのレデーは籠の中に殘つてゐた美しくおいしい果物を忘れる事はしなかつた。

私達が出口の方へ出やうとする途端「やあ林さん暫らくでした、ほんとによくゐらつしやいましたね。どうでした、暴れやしませんでしか」元氣のいゝ聲の主は、カーキー色の制服をつけた青年會の幹事の方であつた。

「まあ／＼渡邊さん、とう／＼來ましたんや」レデーは一寸眼鏡に指を觸れてから「ありがたいこと！わざ／＼お出迎へ下さいまして」と、マントの重みでやゝもすると後ろにそりかへりそうな體を曲げてお辭儀をした。

「あのね、先日電報がまゐりましてね、あなた方がおいでになるからお世話致すやうにつて言つてきたものですからお待ちして居りました。まあ／＼御無事で結構でした」溢るゝ喜びが戸まどひしてはゐないかと思はれるやうな話しぶりである。渡邊さんは溫かそうな制帽を一寸持ちなほして、さて「此れがおつれの方ですか、」と眼で尋ねた。「そう／＼」レデーは吾が傍らに立つてゐる人を思ひ出した。「これが宮川さんでござい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます」しばし忘れられてゐた空虛が存在を見出されて丁寧にお辭儀して、それから何とか言つた。甲板に出ると足の踏み場も無い程荷物が重なり合つて置かれてゐる。人間も多い。青年會の和田幹事も出迎へて下さつてゐた。

埠頭の其處此處には頑丈なルスキーがゐる。倉庫の廊下には頰骨の高くて淺黑い女が忙しそうにゴトゴト歩いてゐる。血色のいゝみんなの內には自然と戰つてゆく粘り強い精力が漲りその表情には頑迷と單純素朴との混和した蔭が伺つてゐる。

ふと、近くの下の方から流暢な英語と日本語の歡迎の言葉がきこえた。女子青年會の河井さんであつた。甲板の欄干の上からは物なれた二人のレデーの聲が直にそれに應じた。私はあたりを見それから更めて自分達の樣子を見て「如何にも異樣だ」と思つて心で笑つた。私は、甲板の上と下とで麗しい聲の交換をするには餘り田舍育ちに出來てゐる。私は默つて好奇の眼を瞪つてゐた。

私達は、荷動を青年會の方々の御親切に願つて、渡邊さんに案內されて浦鹽で人望あり信用ある某氏の自動車に乘せられた。自動車は夥しい支那人や朝鮮人の勞働者と、夥しい馬の間を分けて、馬糞臭い石ころ路を盛んに動搖しながら勢よく進んだ。運轉手はロシヤ人である。私は毛皮の膝掛に足をくるんで「運轉手でも立派なものだ。堂々としてゐて、一種の威嚴をさへ備へてゐる」と感嘆した。

——宮川靜枝——

編輯の後　久しい間吾が婦人界の向上發展のため筆を以て盡されてゐる小橋三四子女史は愈々八月上旬社會問題研究のため歐米視察の途につかるゝ事になりました。私共は「社會の人」としての女史を送り會員としての女史を海外に送るにあたり、大なる期待のうちに御健康と御幸福とをいのるのであります。

吊井上東京府知事

□

井上知事に初めて御面會したのは大正六年の三月未だ櫻の蕾もかたい頃でした。四月に開かれる矯風會大會の祝會に御來臨の榮を得るために御案内に出たのでした、會頭のお供をしてゞす。給仕の案内によつて廣いお室に通りました、大きな卓を前にして掛けていらつした知事は立つてお迎へ下さいました。會頭がお年多いのにわざ〳〵案内に來て下さつたといふて非常にお喜びになりました。そして御同様國家の爲に御自愛を願ます、と仰つしやいました。會の事、また慈愛館の事について種々お質問をうけました。僅かの時間でしたが豐かな温愉ある知事樣と會頭との對話を氣持ちよく伺いました。

□

東京府廳で慈善救濟事業に關する講習會が開かれました。たしか大正七年の初夏だつたと記憶します。私は婦人ホームの代表者として、ペンロット姉は慈愛館の代表として出席しました。知事初め主催者側及役員來賓等の辭があつて閉會の時、井上知事はわざ〳〵ペンロット姉の處へお出になつて「御苦勞です、いつも御盡力下さつて――」と握手してお出になりました。其態度は眞かし救濟事業を愛する人、解する人でなければ表示し得ない力がありました。ペンロット姉は「あの方は信者です――」と申されました。

□

御病氣の會頭のお供して東京に歸りつき別に車中のお障りしなかつたのに滿足して千駄ケ谷の母待つ家に歸りました 夜の十時すぎでした。四谷から甲武線に乘りました。同じ車に井上知事もいらしやいました。スヲツキに兩手を重ねて其上に豐頬をあて同行の二三氏と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しきりにお話の御様子を見ました。私は御挨拶してお さまたげしてもと思つて一寸ためらつて居ましたが、然し存じ上て居りながら御挨拶せぬのは反つて失禮と存じて御挨拶いたしました、私は手に旅行用の鞄を持つて居りました「御旅行でしたか—「アヽお婆さんは如何です、それは結構お年寄だから氣をつけて、—」會頭の事をおたづね下さいました、其後數日して五月廿八日平塚の歸り再び甲武線でおめにかゝりました、此時はお一人でした、今にしておもへば何かお元氣がなかつたやうに感じました。夜も晩く十一時頃だつたと記憶して居ります。終日のお勞れの爲と思つて居りました。然し此時から十數日後おなくなりにならうとは全く夢のやうで御座います。

ロ

私は足らない言葉を以て井上知事の御生涯の御治績について申す事を御遠慮いたします。實に父上の家に住む子の如き感じを以て私は府民の一人として心からお懐しみした知事であつたとおもひます。此思は凡ての人が一致して居ります。救濟事業に御熱心にあつた丈一層深く公私の序でお目にかゝる事が多かつたのですが、平民的な温い方でございました。私の顔を御覽になれば慈愛館のパンを賞て下すつたものです、私は此知事様の時に新設された婦人ホームの女兒保護事業の過去三年に亘る報告書を今作つて居ますときお目にかけたい知事様は既に天上の方であつて猶其報告が出來ずに居る事を悲しく思ます、不良女兒は如何なる家庭から出るかとか、孤兒院に居た子供は惡癖が多いなどゝ統計をとりつゝ考へて知事様に此報告をお見せ申す事の出來なかつた事を悔んで居ります。

私は今吊文を認めるやうに定められながら定つた形に入つた吊詞を書く事が出來ません、心の内にある温情あふるゝ井上知事を斯うして考へめづらしき迄高き其人格を仰ぐのでございます。まだお年も若く我國の爲に有望の方であつたのにと存じますれば、御家族の方々の御心も御案じ申上られて悲しい思に滿たされます。私共救濟事業に携はるものゝ内には知事様の御精神は消ゆる事なき事實として永遠に輝いて居ります。

未だ御めにかゝる機を得ませんでしたが知事様の御令夫人初め其御家族の上に天の豊かなるお祝福を祈り奉ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□我等何を爲すべき乎□□

青年部長　ガントレット恒子

一

前號に於いて私は、社會に出でゝあらゆる善事に手を與へよと申しました。そんなら何を爲すべきか、改造の第一歩を何方に向けたらいゝかとは、當然發せらるべき疑問であると思ひます。

大會に於いて決議せられた禁酒、禁煙、公娼全廢の三大事項は、現在の日本の社會を改善する上に最も重要なる針路であります。單に恥づべき國内の公娼を全廢するのみならず、内外の醜業婦を根絶せんが爲めに、我が矯風會は熱と力に燃えた有力なる委員會を有つて居りまして、一方に於いては大いに輿論を喚起して中産階級の婦人の覺醒をうながし、男女學生間に徹底的貞操觀念を植ゑ付けると同時に、他面組織的な調査部を置いて、着々事業の歩を進めて居ります。

二

然らば智慧に乏しく、力に乏しく、經驗淺き我等青年女子は如何したらいゝのでせう。屈竟な男子さへ命を賭して踏み入らねばならぬやうな區域に進入して、身の危うさも忘れて戰ふべきでせうか、私共は身を危うくする前に先づ踏み止つて考へてみねばなりません。

命がけの戰鬪も時には必要でせう。いえ、私共は常に生命を投げ棄てるだけの勇氣と覺悟とを有つて居らねばなりません。しかし私共青年には青年女子に適した、青年女子にのみ許された仕事がありはしないでせうか。隱れたる所にありて此の大運動にたづさはり、此の運動を促進せしむる事が出來るのではありますまいか。

三

私共は今長い暑中休暇に入らうとして居ります。久しく書窓にこもつてゐた諸姉は今散々に各自の家庭に舞ひもどらうとしておいでゝせう。此の休暇を如何して有効に過さうかといふ事は、諸姉の胸裡に等しく蹲つて居る問題だと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の二月を利用して生れ故郷の町を研究し、其處に行はれてゐる恐るべき害惡に就て眞面目な調査をする事も大切です。しかしそれと同時に鋭い眼を諸姉の手近な周圍に放つて下さい。いまはしい害毒は神聖なるべき家庭の敷居をまたいで居りはしないでせうか。温く清く美しかるべき家庭の空氣は既に悲しい影に冷やされ、暗められて居りはしないでせうか。此の影を除き去る事は——個々の家庭を淨くし明るくする事は、大きな社會事業と等しい價値のあるものである事をお憶え下さい。そして一人の無教育な女中に、一人の無心な少年に、徹底的な貞操觀念を與へ、禁酒禁煙の思想を吹き込む事は、やがて日本婦人の面汚しを一掃し、世界を禁酒禁煙の樂土と化せしむる第一歩である事を記憶してゐて下さいまし。

私は諸姉が此の夏休みの間に諸姉の周圍に先づ改造の手を下し、同時に各地の日曜學校を手傳つて、無垢な少年少女の間に盛んな禁酒軍を起されん事を希望して居ります。

□□財務部より□□

千本木道子

姉妹方の中には七年の間毎年開かれた大會の席に、廣岡刀自に隨いて列つて居つた私をおぼえて居て下さる方もあらうと存じます。刀自は私を此の本部へ殘して天國へと旅立たれました。而して本部では會計と財務部との机の前に坐わらせて下さいました、その仕事が私に適して居るかどうかわかりませんけれども、出來るだけの事は致さうと決心致しまして有難く御受け致しました。

いよ〳〵仕事を執り始めましたのは先月の中旬で御座いますが、さて會計、財務の事務を執つてみましてつく〴〵今迄の會計をして居られた方の努力に對して感謝致しました、同時に私共の會も益々發展致して參りましてその經常費もざつと三倍になつて居ります今日是非何等かの方法がたてられて參らなければ、會を充分に運轉し發展させて參る事が出來ない事と存じます。それで此の間

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會計、財務部の委員會を開きまして、左に記しました點について諸姉の御援助を願ふ事に致しました。

一　義務金は必らず毎月御納め下さいませ、(振替の便あり)

二　財務部としまして今年の大會に於て定められた、豫算案によつて參りますならば、參千圓といふお金を蒐集致さねばなりません。

かつて財務部では

甲賛助金　本會の目的を賛しその運動を援助するために年額金三圓(月二十五錢)を寄附するもの、

乙特別賛助金　本會の目的を賛し其運動を援助するために任意に寄附するもの

といふ規定を作つてはありましたけれども、それに對して充分努力致しませんでしたが、此際以上の二つの方法によつて運動資金を得て參り度いと存じます。

甲の方は本會の目的に賛成して居つて下さる間は毎年參圓づゝ出して頂くのであります、而して男でも女でも又會員外の方でもよいので御座います。どうぞ諸姉には御盡力下すつて約束して下さつた方の姓名と住所を御通知下さい、さう致しますれば本部から直接その方に交渉致しまして宜敷取計らひます、各支部に於て二十人程の人を御募り下すつたら全國で一千人が得られ、而して漸く三千圓を集め得るのであります、東京に於ては少しづゝ着手して居ります。尚特別賛助金の方も特に諸姉の御賛助を願ふ次第で御座います。各支部にあつて活動さるゝ敬愛する諸姉の上に、神の御祝福の裕かならん事を祈りつゝ、就任の辭に添へて會計及び財務部の相談事項を御通知致すと共に皆様の御援助を乞うた次第で御座います。

□□紅海より□□

海老名みや子

只今印度洋を終つて紅海の入口に這入りつゝあるのでございます。左にアフリカを見、右にアラビヤの山を眺めて、鏡の樣な海の面を進みつゝあるのでございます。紅海と云へば昔のイスラエル人が、モーセに導かれて此處を通つてアラビヤに這入つたことを思ひ起します。

先月十一日神戸を出帆しまして三十五日、これでロンドン迄の旅程の

約三分の二を終つたわけでございます。思へば隨分長い旅程でございますが、幸に身體至つて壯健で、一度も食堂を缺席したことがございません。

神戸を出發以來先づ門司で思ひがけない歡迎やら送別講演會やら、多數兄弟方に送られて上海に參りますと、此處でも亦豫想以上の歡迎を受けました。婦人會、講演會、日曜禮拜等、上海にあつて未曾有の大會であつたと皆さんが非常に喜んで下さいました。其次の日曜も丁度香港上陸の日で、其次はシンガポールで至る所故國から父母が來たといつて大喜びで、自働車で見物さして下さいました。

支那に於て又マレイ半島に於て、英國人の經營は驚く可きものでございます、又日本人もなか〳〵勢力を得つゝあるのは喜ぶべきことでございます。其中に下級の支那人とマレイ人と眞黑な印度人とが、文明の風も知らず顏に勞働に服し、下等な生活をして居るのには、只々哀れを催ほすのでございます。殊にシンガポールは十數種の人種が集つて居る所で、其違ひの大なる事、これが凡て神の子の自覺に入るのは何時であらうか、又何うしたら入れることが出來るであらうか、これは、我々クリスチャンの大責任である事を今更ながら痛切に感じたのでございます。

コロンボといふ所は流石に小數の白人の外黑い人達ばかりです。無論同じ黑い中にも非常な差があつて、上等の方は中々立派で、彼のタゴールなどのたぐひでありますが、下等になると丸で動物に等しいと思はれる程でございます。此處は又寶石の最も多い所で、黑人が立派な寶玉の店をもつて、巧みに賣りつけて居る所は實に不思議な感に打たれます。

ペナンと云ふ所で印度人の店をのぞいて見ますと、麻の葉模樣の紋縮緬がありましたので、きつと日本の品だと思つて少しなつかしくなつて聞いて見ますと、果してさうでござりました。印度人は英語をよく話しますので、向ふにも大變懷しさうにして、此處の品物は皆日本から來ます、日本人は大變上手です、歸りには何時此處を通るかなどと云ひますので、歸りは米國を通る積りだと申

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ますと、ア丶米國は日本に近いからでせうと申しました。成程米國は日本から近い所でございます。此處から米國迄は四五十日かゝりますが、日本からは十四五日で行けるのですもの、近い所と云はなければなりません。

兎も角も今回は珍しいことを見聞致しまして、非常な幸福を得る事と存じます。又一面英人、佛人などの中にも、まだ／＼基督の御精神から遙かに遠ざかつて居る行爲もあることを見る每に、私共は黑人と云はず黃色人と云はず又白人と云はず傳道の大切なる事を痛切に感じます。

これから數日間紅海を通り、スエズをぬけてポートサイドに着きます。それから地中海を通つてロンドン着は今日から約十五日後でございませう。

門司以來日本の通信は絕て、あの世と此の世の感がございます。萬事を神樣の御手におまかせして、日々を樂しく過して居ります。此の二ケ月の航海は私にとつては珍しい閑な月でございます。今こそ勉强時と思つて、幾十年ぶりで讀書に耽つて居ります。

歐洲上陸の上は何を見出し、何を敎へらるゝかまだ分りませんが、必ず學ぶ所が多い事と存じて居ります、どうぞ御老體をお大切に遊して、歸りをお待ち下さいまし、何かお喜びになるお土產をもつて歸ります。

日本はもうそろ／＼お暖かになることゝ存じますが、私共は三週間前から眞夏の服裝を致して居ります。こゝ四五日の中には又冬が參るさうです。面白い事でございます。幸に風も引きません、少しの船醉ひの氣味もございませんのは眞に仕合せでございます。

船中隨分いろ／＼忙がしくして居りますので、皆樣方に長い手紙をさし上げかねますから、お親しい方々には此の手紙を御覽に入て下さい。落實樣に願つておきますが、矯風會の方々、婦人敎役者會の方々へよろしく御傳へ願ひます。私共の任務の益々大なる事を思ひます。こんな長い呑氣な旅行ももう其中には出來なくなりませう。今にロンドンから一週間で飛んで往來が出來る樣になりませう。日本の傳道を思ふ時に私共は世界の傳道も同時に考へねばならなくなりました。

皆樣の御自重御自愛を祈ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□丹後峯山□□

子守遊戯所

谷口ちゑ子

雑誌其他にて會頭御大病後の御模様を記載して居りますが、娘からもまた新報にも何もなかつたのでどうしたことかと御案じ申て居ります、何卒御模様おきかせ下さいませ。

扨此度峯山婦人會で先年來の希望なりし子守遊戯所今回實現の緒につき、いよ〳〵寄附金募集いたしました處、三千圓餘出來ました、吉村夫人の一千圓を最多として次は百圓五六人、あとは七十、五十、三十、廿圓と最少が壹圓一名、二圓が二名位、皆心からの寄附、五圓三圓が大部分、峯山婦人會員二百人ばかりの家から集めしもの、而も十日足らずで此結果を見た事でございます。實に時節到來と喜んで居ります。設置の場處は丹後縮緬始祖森田紀念碑の廣場です。

本町戸數八百七十六人口四千二百年々著しき増加にて小學校も狭隘を告げ、大正九年度には増築の計畫に町はなか〳〵經費多端の折からにもかゝはらず時節がよくてよく集まりました、縮緬處とて此町の機業家數は十六戸、あとは皆村落に出して織らせるもの、町内に住む職工數二百二十八、機數五十八臺、村落一帶を加ふれば北丹一の工業地にて、生産額は仲々侮る可らざるのみか從來の手織を力織機に改めて、外國向の織物を澤山製出しつゝある現今、一日〳〵目覺しき發展につけ機業に從事せんとするものも日に増加し、父兄母姉の勞働に從事する家庭の教育は無教育なる子守の手に一任されある有様で御座います。子守の風規問題は一般職工と等しく、機業地の弊風を除外し得ず心ある人々の非常に憂ふる處にて、婦人會の活動となつた次第で御座います。

此町はいかなる金滿家でも、町の風で必ず子供は子守にまかせるものと定められてゐます、主婦が子の守などして居る様な横着者は恥かしいといふ様な有様で、何よりも仕事に骨折る習慣でございます。矢張これ等は機業地の風と申すので御座いま

せう。此度此子守遊戯所設置について働いた人々の重なものは婦風會員にありました、日夜を通して十數日の募金が三千圓餘。會長宅に委員は集金を持參して寄り合ひ、御手製のお菓子をよぶと仰せられ、上りばなでありましたが、御馳走になつて歸りました。連日の勞れにて今日は今迄休みました。

御喜び下さるやうにと一筆認めました。

この記事は私信でしたが、あまり結構なお働き故示載しました。米川婦人會は米川町のものです、然し町の婦人會に關しておらつしやる婦風會の夫人方が隨分お骨折になつた事ですから御同様感謝します。

金壹千圓也　廣岡惠三氏寄附

故廣岡淺子刀自の記念として御寄附になりました。本部役員は御厚志を永く記念する爲に、基本金に入るゝ事に決議いたしました。改めて諸姉に御報告致します。

本部會計

新著紹介

「基督教の新建設」　久布白直勝著

「私は論理的な教理よりも宗教の實驗を重んずる。私が五年間の神學研究に於て、宗教的眞理は從來の諸先輩の如く論理的觀念やドグマの如きものによらず、正反對の方面即宗教的經驗に由て識らるゝの理を發見した時は、私は實際インスピレーションに充たされて、躍らんばかりに喜んだ、其は全くカントやシユライエルマツヘルやハルナック等の賜であつた。私は是に於て神學に大なる光明を見出し、この發見をもて徹底的に新教の傳道に驀進して見たのである、私の十年間の努力は其の空しからざるを證明して與れた、即ち私はどこまでも宗教的經驗を生命とし、哲學をして之を指導する眼識として、基督教の眞髓に分け入りたいのである。」とあります。また、著者は「本書が我國の智識階級の人々の爲めに、基督教紹介の傳道書として用ひらるゝを得ば、私の最も光榮に感ずる處である、」云々讀で眞に基督教の溌溂たる生命に觸れた感じを得ました。御購讀をお勸めします。

（東京市民教會出版部、定價一圓五十錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

日本部

本部常置員會

六月二日午後二時本部に於て開く、出席者、矢島、淺田、安中、二階堂、大橋、久布白、宮川、守屋、根本、皆川、井深、木村、千本木、藤井の諸姉。

根本德子開會の祈を捧ぐ、點呼前回記錄朗讀の後、諸議事及相談に及ぶ、

一、財務部の募金方法につきて、

一、本部會計の顧問として小崎姉を依賴する事、

一、各支部其他に會頭の全快を通信する件、

一、財務部の三圓會友に常置員は加入の件、

一、各部長の報告、

一、伊勢崎、平塚訪問の報告、

一、ペルシャの學生を訪問の件、

井深花子姉の祈を以て閉會す。

財務部委員會

六月十一日島田三郎夫人のぶ子姉のお宅に於て開く、出席者、島田信子夫人、小崎夫人淺田みか夫人、守屋東姉千本木道子姉、

一、本部の月々の豫算につき、

一、別途支出の金額は財務部に依賴する事、

一、財務部の第一事業として全國に三圓（一年に）支出の會友を廣く募る事、

一、常置員は先づ五人を引き受くる事、

一、各支部にて依賴する件（三圓會友募集）、

此外基本金募集につき談合して五時散會す。

渡邊常子姉歡迎會

六月十四日午後二時より新歸朝の渡邊常子姉の歡迎會を擧行す、久しく病氣にて臥床中なりし會頭も此日は出席さる。

讃美祈禱歡迎の辭につき渡邊姉は瀟洒たる洋裝にて滯米一年間の出來事を愉快に語らるゝ同姉の旨はるゝ如く何等の豫定なき旅なりしかど凡て御手のまゝに動き、千載一遇の好機に米國に移したる事を感謝すと述べらる、また米國合衆國の矯風會大會に出席して日本を代表し辭を述べ終身會員の名譽を負うて歸朝されしは、共にうれしく思ふ事でありますと各自打ちとけ談笑して散會、出席者七十餘名、各新聞社の寫眞版は次日同姉の快活なるお話しぶりを掲載す。

シベリヤ委員會

六月十七日午後三時より本部にて開く、出席者、久布白、矢島、守屋、ポールス、ソフツクモーア、ペンロッド、傍聽者、大橋、宮川大澤、安中、小橋、築山、二階堂、板倉、招待せる久布白牧師及北澤新三郎氏來會。

例會を開きて事務を運ぶ、此日は特に早稻田大學教授北澤氏に天草、島原等の實地調査を初むる前に注意すべき件々及其調査の方法等を御相談する爲に用ふ、北澤氏、

一、具體的事實に基礎を置く事、

二、醜業婦の立場から見る事の必要、

三、醜業婦研究は貧乏人を救ふと同樣、なつたものを救ふよりならぬやうになす事が必要、

其他細かに指示さる、

猶一同は打ち解けて此問題を如何にすべきかを考究せし結果、調査に行く人選をなす、其交涉委員として（守屋久布白）、

北澤新三郎氏、久布白直勝氏、布川靜淵氏の三氏を特に此委員會の研究委員として推薦し承諾を得。

此記事を認めて居る時久布白氏より感謝すべき報に接す、即、熊本支部は此運動に特に金三十圓也の寄附を送られた事であつた、實に感謝に堪へない事であろ、調査を初むれば早速金は入るのであります、然し必ず入用のものは與へらるゝと信じて居ります、今其第一を見ました。特に此委員會の爲に諸姉の祈を願ふ。

支部

下關支部

五月廿六日下關日本基督教會に於て門司合同教會牧師宮崎小八郎氏を聘して講演會を催せり。同氏は、時局に對する剴切なる婦人問題に關し熱心に語られ會衆一同大に感動を與へられたり。次に青木壽子姉の大會報告ありき。暫し互に談し樂しく散會せり。（寄記黒木ます子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

久留米支部

私共の支部が初聲をあげましてからはや一ヶ年の四月は經ちました。未熟な者のみの集りで御ざいますから、神の御前に此さいふ目覺しい戰をなす事もなく居ました事を深く殘念に存じて居ります。され共一度目をあげますさ、私共の周圍には敵のみで、私共の働の廣大な事が覺ゆる時、全身の血が湧きたちます、當市民は實に宗教に冷淡でありまして、先に片山博士金森政助、伊藤一隆、伊藤秀吉諸氏の御來久の折講演會を開きましたが、その日が丁度四月三日の神武天皇祭で花見遊山に出かけた人多く、出席者は僅に百人未滿で誠に遺憾に思ひました。

去る五月十三日總會を開き、役員、部長の選擧をなし、今迄よりもより以上の祈りさ努力を以て働かうさ心に定めました。留川まき子報。

丸龜支部

四月十四日午後七時半より南條町丸龜教會に於て大會報告會を開く。支部長司會の下に讃美祈禱をなし會員數名の熱心なる祈あり。次に代員さして大會に出席せし書記井後姉の報告及び支部長の感話あり。一同大に力を與へられたり。終りに井後姉俄に神戸靈內教會に轉ぜらるゝ事さなりし爲後竹内姉總代さして送別の辭を述べられ井後姉の答辭あり。引きつゞき茶話會に移り一同感謝の中に閉會す。當日會員の出席者十三名。坂出支部長岩瀨夫人の當日御出席ありし事を感謝す。中澤すゞ子報。

廣島支部

四月十九日蓬沼姉宅にて多辻姉司會の下に例會を開く。婦人ホーム新設の件につき協す。多辻姉より提出せられたる趣意書並に規則書は大體に於てそのまゝさ決議し、役員さして監事多辻敬子姉、主任松山姉、會計郷津姉、永久姉を選定せり。尙婦人ホーム維持金募集の爲大音樂會開催を企て、各自任務を分擔し、種々協議の上希望に充ちて十一時半閉會せり。

松山靜子報

呉支部

五月廿三日午前十時より日本基督教會に於て定期總會開催、支部長司會の下に禮拜、會員點呼の上各報告に移る。書記會計及交際部等の報告あり。法律、風俗、傳道各部の部長は病氣其他の事故の爲缺席にて報告なかりき。役員改選の結果支部長十時菊子、副支部長工藤すみ子、會計坂田かめよ、書記丹下万里子、並波多野あき子の諸姉を擧ぐ。バプテスト教會牧師の閉會の祈に次で山室軍平氏並に當市各教會牧師方を招待して會員有志廿餘名會食せり—山室氏の旅行談をきゝつゝ。

午後二時よりメソヂスト教會に於て母の會主催の講演會を開く。工藤母の課長司會にて禮拜支部長十時姉は本會の起因、婦人の切なる祈り即ち、ルイズ夫人の熱誠なる努力等に就て語られたり。續て山室軍平氏は立ちてイエスの婦人觀を述べ大に我ら姉妹の意を强うせしめらる。ケル夫人の獨唱の後救世軍の爲席上獻金を爲し此を捧げたり。出席者五十餘名。新入會者十五名を迎へて感謝せり。尙ほ總會に於ては支部長の發議にて、誕生日獻金を實行する事、集會の折缺席失念者多き爲め懲罰の爲め金五錢を出す事の二件を可決せり。

六月十日午前十時軍人ホームにて役員會を開く。禮拜の後部長の指名に移る。傳道部長西村よし子、家庭部長工藤すみ子、古西つる子(副)、法律部長中塲すゑ子、丹下万里子(副)、教育部長池田沖石子、藤本房子(副)、交際部長ミスカーヴサン、佐々木せん子(副)、風俗部長石原ます子 十時菊子(副)。

水戸支部

六月十日午後二時より備前町支部長宅にて役員會を開く、支部長記錄書記、交際部長二名通信書記、副支部長會計の七名、交際部長小峯姉は御病氣にて缺席。

祈りの内に相談會を開き來る廿一日交際部長主催の下に晴天なれば常磐公園芝生にて親睦會をかね例會をなす事につき相談あり、交際部長は缺席なりし故支部長より交際部員旧所姉、小島姉にその日の幹事を依頼す。

一、在外會員にも通知する事、

一、七八九月は休會する事、

此日は本支部長の御母堂はるぐ海を越えて來會あり、一同さ共に樂しく語る。

一、當支部にては近頃市中に建てられたる有田ドラッグさて不潔なる病の模形を以てその狀態を示したる賣藥店あり、其店に公娼全廢運動のトラクトを千枚ばかり依頼して箱に入れ柱に掛け、公衆に配布する事を依頼したるに店員も心よく承諾し下さる。

六月廿一日豫定通常磐公園藤棚下に二十八名の會員は午後二時より集會し樂しき話の内に茶菓を喫し夕刻散じぬ、此日ファネス博士は來會され婦人の小さき集會は大なる仕事をする基礎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をつくるさいふ點につき親切にお話し下さる。

（平川梅子）

千駄ケ谷支部

六月十日梅雨の日靜かに支部發會式を擧ぐ、司會倉知正猪、讃美祈禱の後守屋東開會の辭、久布白落實姉會の使命につきて語る、一同祈禱をなしミラ姉の茶菓の饗應をうけて散會す。

支部長　大久保乙羽
會計　松本せい子
書記　二藤たけ子
風俗部長　後藤かをる
少年部長　倉知正猪

獻會費金壹圓五拾錢

例會開會日　第二火曜午後三時

此日獻金一圓七十五錢を捧ぐ。武藏野を飾る樫の枝に葉細く、雨に動くも心よし。

鎌倉少年禁酒軍

六月廿四日午後二時より比企ヶ谷矢島氏宅に於て開く本部より守屋少年部長安中文書部長來會、雨烈しかりしも來會者十數名、樂しき集合をなす。

土浦支部

敬愛する矢島先生には先頃御旅行先にて御發病されしさ承り會員一同實に驚き入り申候さなきだに心地惡しき昨今の時候に其後は如何わらせられ候や吳々も御自愛遊さるゝやう祈り奉り候。

當支部別に變りなく四月廿一日には第十三回例會を開き水戸は部長ピンフォールド夫人並に宇佐美姉の御出席有之親しく神戸に於ける大會の御様子を伺ひ感謝いたし候、五月及び六月にも第二月曜日には例會を開き、中村眞作氏の御話有之候、毎會出席者は少數なれ共、主義の爲に盡さんさの精神は旺んに御座候。

弘前　部

六月六日は午後二時より若葉幼稚園にて、今回本部傳道部長古田さみ子姉の來弘を好機さして母の會さ聯合して集會を開く、宮田姉司會にて禮拜、古田女史は「無くてかなふまじきものは一つなり」さいふ聖句を引照して、妻さして母さして無くてはならぬものは理解同情愛の三つなる所以を力說し基督の至大なる人格を高調し大に一同を感激せしめられたり。ドレパー姉の讃美獨唱ありて一先づ閉會し懇談會に移り小鹿よし子姉の矯風會事業の內容につき報告的說明あり。茶菓の饗應もあり和氣靄々の中に散會せるは四時半なりき。（高松つる子報）

（尙三月例會の折はドレパー女史を介して金五圓を仙臺の東北孤兒院に寄贈されました）

廣島婦人ホーム

五月十六日ホーム事業につき支部長宅にて相談會を開く、

五月廿四日は市公會室にて慈善音樂會を開く、當支部會員總出さなりて各自の任務に奔走す、開會一時間半後には既に滿員にて階上の危險甚數止むなく入場お斷す、大好評の内に閉會す、正に十一時三十分出場の際會場口にて公娼全廢の「トラクト」を配布す五月卅日西警察署長官舍にて矯風會員感謝會を開く、多辻副支部長司會、讃美歌五十三番、開會の祈菱招姉、署長の奬勵數人の感謝祈禱、ホームの事業報告を森山姉なす、婦人ホームの監事を選擧す、リンドストロム夫人太田秋子の兩姉に決す。

婦人ホームの衛生顧問さして右の三氏を願ふ

清水、田村、八木の三醫師、快く御承諾。

慈善音樂會の利益三百七十圓余さ寄附金を募集せしもの七百圓余を得たり、即ち千圓は住友銀行に預金す、殘額はホームの備品調達の爲に會計の手許に殘留す。

御祝福を祈上候、本日は開會に際し誠に優渥なる祝電を賜り會員一同深く感謝いたし候、貴き祈禱團により當支部事業の爲め諸姉の御加禱を頂き候事眞心より感激いたし申候、天父の限りなき御恩惠のもとにホーム設立記念感謝會並に矯風會總會も終始御臨在を認めつゝ只今六時半閉會いたし候。

婦人ホーム設立紀念感謝會、司會者多辻敏子姉、司會者祈禱の後宣言朗讀、讃美一七〇番、御挨拶多辻姉婦人ホーム事業報告松山姉、會計報告郷津姉、奬勵和田牧師並に前田三遊先生（藝備新聞主筆にして非常なる祝福を與へられたり）讃美二七〇を唱ひ古坂牧師の祈を以て閉會す。

矯風會總會、司會者リンドストロム姉、讃美二七〇番を以て開會、司會者の祈の後直に役員選擧に移る。其結果、支部長多辻敏子、副支部長赤岩千代、會計氷久きくの、書記松山靜子。

新築の間假事務所を大阪市北區上福島北一丁目一六〇菊地分院內電話土佐堀九九〇番。

大阪婦人ホーム

一、尋れ來る婦人の爲め假出張所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大阪市中之島六ノ六淡橋諸理髮店隣、

一、募金報告、

一、豫定額（金三萬圓）

△現金（六月十四日現在）金一八一八円三一

△豫約中のもの　金一五三一円〇〇

計一萬九千七百十七圓三十一錢也

△理事（十五名）の負擔募集額（金六千圓）

但理事一名につき四百圓

△差引不足額、金四千二百八十圓六十九錢

我等今起工式を迎ふるに際し尚此大缺陷を有す、されど神は必ずや信じて祈る者に神の光榮を顯はし給ふことを今一段奮闘努力して御惠を待たんかな。（錦織くら）

伊勢崎支部

五月廿九日會を開き役員選擧をなし左の通り相定め申候、

當支部事務所を群馬縣佐波郡伊勢崎本町日本基督教會内におく、

支部長　大竹貞司

副支部長　板垣ふじ

會計　下城しげ

書記　近澤まさ

義務金並に五錢袋は當任者より御送り申上べく候、婦人新報は一部大竹貞司姉宛御發送被下度候、たくわん一樽味わるく御はづかしく候へ共御送り申上候本部にて御用に立ち候はゞ有難き仕合に存じ申候。（書記近澤まさ）

松山支部

當支部の爲に御祈り下され御禮申上候、四月十九日には思ひ掛けぬ良き働きを致し得感謝いたし候、朝八時より天幕を開き禁酒禁煙の統計表或は教訓的繪を刷り出し人目を引くやうに致し候、當地の各教會牧師に御依頼して矯風會についてまたその働きにつきてお話を願ひ、會員は外に出でゝ働き候、矯風會出版の印刷物を萬を數ふる程配布いたし候。四月廿四日は共進會開期中にて特別集會を開き難く漸く五月六日開き申候、役員の改選をいたし候、支部長パシリー姉の送別會感謝會を開き候、新役員は熱心に今後の働きにつきて相談いたし候、今は當支部は喜びの中に働き居り候。

東京部會

五月一日開會、相談事項左の如し、

一、仕事會について、

一、料理會開催の件。

一、公開演說會の件、

一、旗の件、

一、財務部の働きにつきて、

一、婦人ホームにつきて、

此外各報告ありて定時刻に散會す。

婦人新報代金領收

（自四月二十八日至五月三十一日）

現金一圓也	函館	佐藤善也氏
同金一圓也	神戸	門田愛子姉
爲金一圓也	野付牛	ヒヤッソン夫人
同金一圓也	同	北村たか子姉
同金一圓也	同	田中さし子姉
同金一圓也	同	阪野こさ子姉
同金五圓也	哈爾賓	堀耘子姉
同金五十圓也	東京	麹町支部
振金五圓四十錢也	今治	今治支部
同金一圓也	長野	青木ツル子姉
同金一圓也	水戸	加藤木ふき子姉
同金一圓十七錢也	土浦	土浦支部
同金卅七圓五十錢也	大阪	大阪支部
同金六圓二十錢也	大阪	ダニエルソン氏
同金二圓五十五錢也	熊本	大島春野姉
同金五圓也	鹿兒島	鹿兒島支部
同金二圓也	浦汐	脇美佐子姉
同金四圓也	松山	新井貞子姉
同金一圓也	伊勢	堀やす子姉

合計金一百二十七圓八十錢也

五錢袋入金表（五月分）

縣名	支部又は教會	取扱御芳名	金額
東京	四谷東信濃町	阿部よれ子姉	三・七五
同		立木姉	三五
同	神田錦町	樋口絲子姉	三・〇五
同		有志	〇五
同	小石川青年部	小山松子姉	一一・〇〇
		計	一八・二〇
京部	向日町組合基督教會		一・五〇
北海道	函館控訴院官舍	佐藤善也氏	一〇
樺太	豐原町復活教會	大矢敬香氏	一五
秋田	大館町聖ボーロ教會	野村義夫氏	九五
山形	山形市メソヂスト教會		六〇
群馬	前橋市の集會にて		一・〇〇
同	北甘樂郡福島町	山田しん子姉	四・〇〇
同	伊勢崎支部	近澤まさ子姉	七〇
		計	五・七〇
神奈川	板橋字古大門	筑紫つろ子姉	二五・〇〇
同	横濱市中村町	根岸道子姉	五〇
同	平塚支部	西守氏	二・〇〇
		計	二七・五〇
山梨	甲府市百石町	渡邊しげ子（二回に入る）	一二・八〇
同	市川教會婦人會	畑川慶藏氏	三・四五
		計	一六・二五
愛知	豐橋市日基教會婦人會		二・五〇
同	豐橋教會婦人會	鈴木松枝姉	二・五〇
		計	五・〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

縣名	發送先	部數
岐阜	大垣市聖公會 河口字四次氏	四〇
滋賀	八幡町バプテスト教會	一・七〇
兵庫	兵庫メソヂスト教會	二・九五
同	神戸青年會寄宿舍有志	四〇
同	神戸市 船橋さし子姉	四五
	計	三・八〇
福岡	門司バプテスト教會 石川保五郎氏	一・八〇
同	福岡市大名町 洪恒太郎氏	一・三五
長崎	佐世保市戸尾町 ケンブリッチ氏	二・九〇
宮崎	都城町宮丸 小杉いの子姉	一〇
大分	中津町新魚町 木村ろい子姉	一・〇五
熊本	熊本同春病院	二・四五
朝鮮	平壌南山町 服部守成氏	一・五〇
同	京城大和町 持地ゑい子姉	一・〇〇
	計	三・五〇
臺灣	臺北龍匣々庄 羽島花枝姉	三・〇〇
同	打狗日基婦人會 今井くま子姉	一・四〇
清國	大連日基教會 三好待子姉（二回に入ろ）	一七・七五
	計	一一六・一五

四月より六月までに五錢袋御引受け下されし一覧表

縣名	發送先	部數
東京府	フレンド青年部	五・〇〇
同	神田支部	二・〇〇
同	麹町支部	三〇
同	赤坂支部	二・〇〇
同	芝支部	七・〇〇
同	千駄谷支部	一・〇〇
同	京京女子大學	四・〇〇
同	東洋英和女學校	二・五〇
同	香蘭女學校	五・〇〇
同	立教高等女學校	五・〇〇
同	女子聖學院	三・〇〇
同	女子英學塾	三・〇〇
同	下谷教會	一・〇〇
東京府	四谷阿部よれ子姉	一・〇〇
同	飯島つれ子姉	五〇
同	靈南坂教會渡邊鐐子姉	五〇
同	事務所客	一・五〇
同	木村鶴井姉	二五
北海道	札幌支部	一〇・〇〇
同	留萌支部	五・〇〇
同	小樽支部	五・〇〇
同	野付牛支部	一・〇〇
同	旭川支部	二・〇〇
同	函館控訴院官舍佐藥善也氏	一・〇〇
兵庫縣	姫路支部	五・〇〇
同	神戸支部	一一・〇〇
同	神戸女學院青年部	八・〇〇
同	住吉村樽崎姉	一・〇〇
大阪府	大阪支部	一〇〇・〇〇
同	堺支部	二・〇〇
神奈川	横濱支部	五・〇〇
同	聖經女學校青年部	六・〇〇
同	共立女學校神學部	一・〇〇
同	鎌倉支部	五・〇〇
同	茅崎南湖院松岡姉扱	一・〇〇
京都府	京都支部	一〇・〇〇
同	同志社青年部	六・〇〇
山梨縣	甲府支部	一一・〇〇
香川縣	丸龜支部	四・〇〇
同	高松支部	四・〇〇
熊本縣	熊本支部	五・〇〇
山口縣	下關支部	一〇・〇〇
靜岡縣	靜岡支部	三・〇〇
福岡縣	若松支部	二・〇〇
同	久留米支部	五・〇〇
愛媛縣	松山支部	三・〇〇
群馬縣	前橋支部	五・〇〇
同	藤岡支部	二・〇〇
同	原市支部	一・〇〇
長野縣	長野支部	三・〇〇
同	飯田島地夫人	二五
同	長野依原五百枝姉	三・〇〇
群馬縣	富岡支部	三・〇〇
神奈川	平塚支部	五・〇〇
長崎縣	長崎支部	五・〇〇
岡山縣	岡山支部	五・〇〇
廣島縣	吳支部	一〇・〇〇
宮城縣	仙臺支部	三・〇〇
鹿兒島	鹿兒島支部	三・〇〇
茨城縣	土浦支部	五〇
同	水戸青年部	一・〇〇
佐賀縣	佐賀支部	六〇
青森縣	弘前支部	三・〇〇
東京府	小石川青年部	一・五〇
兵庫縣	須磨町坂部しづ子姉扱	一・〇〇
	計	三三二・四〇

■編輯室より■

□會頭はお丈夫におなりです、此夏は東京で過ごそうと仰つしやいます。同人一同至極健在、各机前に暑さと戰つて居ます。

□宮崎牧師の御說は非常に結構と存じまして本號に頂きました、一寸私は今月は失禮すると久布白姉はお休みです。

□八月號から大橋房子姉のウヰラード女史の傳を記載します、房子姉特有の筆、安中姉も家庭小說を、また歌を、夏の讀物として諸姉の前に。

□淺田姉は一家を擧げて房州の別莊にゆかれます。宮川姉のシベリヤ紀行は愛姉方の鶴首さるゝもの八月號は涼しい浦鹽の事でせう。

新刊紹介

【婦風會でお取次します】

■「イスラエル物語」　大橋房子著

婦風會の本部の役員會の時でした、各部長の報告の時房子さんは、青年部長を代表されて報告をなさつたあとで、「私は此度本を書きました「イスラエル物語」といひます、近いうちに出ますからどうか買つて讀んで下さい」と仰しやいました。其本がこれです、四百頁に亘る大部のもの、舊約聖書を解りやすく美しい文體ですらくと面白く書いてあります、家庭の讀物として、また日曜學校の先生方にもおすゝめします。本の初めの小さい詩も房子さんのお試みです。

（京橋銀座　警醒社發行、　定價貳圓・送料十二錢）

■「モーセが修業せし國」　安中花子譯

文書部長の安中さんが救世軍の山室大佐から依頼を受けて青年男女の讀み物として譯されたものです、此書は近代科學の發達により益々舊約書時代の歴史が明白に事實である事を證明されて來た事について細かく有益に書かれたものです。

（救世軍本營出版、　定價八十錢）

■「基督の精兵」　山室軍平著

神の國の精兵として戰はん基督の精兵として身も靈も獻げんと大佐は敎へて下さるのみならず實行してお出になるのです、此書は「ときのこゑ」に掲げられた說教の内五十二篇を集めたもの、諸姉におすゝめいたします。

（救世軍本營、出版）

■「フレーベル傳」　岩村清四郎譯

日本に幼稚園事業は甚だ盛になつて來ましたがまだ其恩人フレーベル傳を見た事がないといふ發端から譯者これをのせられたのです、フレーベルの生立からペスタロツチとの關係より幼稚園事業に生涯を捧げ一八五二年にマリエンタールにて眞に基督教者として眠につかれた事、フレーベル榮冠後の幼稚園の發展まで說き及ぼしております、近頃愉快に讀だ書物です。

（賣捌所　警醒社、教文館、福音社　七十五錢）

God to crush the power of militarism when once they had awakened to its danger, and the cause of Righteousness triumphed. This very victory is a call of God to arise once more and never cease the strife until this foe that destroys both body and soul shall be abolished. And not this alone but every form of moral and social evil. Not with swords and battleships, but "taking on the whole armour of God" "as good soldiers of Jesus Christ" who taught us the great universal truth—"The Fatherhood of God and the Brotherhood of man." As between nations there must be justice before there can be lasting peace; so between the classes that make the nations—between employer and working people—is it right that one should accumulate excessive wealth by the grinding toil that crushes life and soul out of thousands?—between men and women, between governments and people.

Mrs. Hirooka whose recent death leaves a gap in the ranks of Christian workers, wrote thus in the New Year number of the Yomiuri,—

"The greatest and noblest spirit of mankind is the spirit of self-sacrifice for the benefit of the world; and the first and the most important thing to be done by men and women of wealth is to co operate with the poor in all departments of human activity with mutual respect and love. . . . . . In fact there is absolutely no hope of witnessing lasting peace on earth until this noble spirit of humanity and democracy prevails all over the world."

This is the "Peace among men" which Christ came to bring, the establishment of His Kingdom of Peace is the work He began to do, and which He left His followers—you and me—to carry on. May we each find our part and work under His guidance until the vision of the Psalmist is fulfilled "Righteousness and Peace have kissed each other."

Work Or Shirk?

Tell this trnth to all men,
Both with tongue and with pen,
Ring it out all ye bells of the Kirk:
The good Lord from above,
Who is Infinite Love,
Is the friend of the people who *work*

So work on with your might
For God and the Right,
'Gainst the evils that everywhere lurk;
As the same-loving Lord,
We are taught in His word
Will be judge of the people who *shirk*.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

How Can Peace Be Made Permanent?

By I. S. Blackmore

For more than a week our hearts have been vibrant with joy and thanksgiving. The terrible strife of the past five years is over and Righteousness has triumphed. And now we look hopefully to the League of Nations to lay plans by which this victory purchased by the sacrifice of so much suffering and sorrow may be made permanent and world wide. Militarism as a means of exalting a nation has been tested and failed utterly. The nation which thought to donimate the world by military force, deserted in their hour of need by the Kaiser who had urged them to this fatal course, have been slaughtering each other in blind fury by means of the very weapons with which they had thought to overcome the world, until question before the allies was not "how may Germany be overcome?" but 'how may Germany be saved from self-destruction?" Wise indeed must be the mind and strong and true the heart that devises effective aid for Germany. Yet we hope to see the German people freed from the entanglements which have robbed them of true power, look out with cleared vision upon the nations about them not as enemies to be weakened and exterminated, but as brothers with whom to join in mutual helpfulness as together all move forward in paths of Peace that is founded on Righteousness. We hope to see Russia and all the nations whose governments have been overturned in the terrible strain of war, re adjusted and entered upon a better political and social life. We hope to see all nations freed from the tyranny of building greater and ever greater warships and armaments, and using the money for real improvements that will add to the comfort and happiness of the people.

But may we sit quietly with folded hands while we wait for time and the League of Nations to bring about the good we long to see over all the world? Can we say the fight is over? Listen to the warning of Jeremiah, "They have healed also the hurt of my people lightly, saying, peace, peace; when there is no peace." Jeremiah 6:14. We say no peace can be lasting that is not founded on Righteousness, but is Militarism the only obstacle to Righteousness on earth? Indeed we have a worse foe within our gates. Think of all the rice in Japan and the wheat and barley in Europe and America that are used yearly in the manufacture of intoxicants, while the poor languish and die for want of these precious grains! Can righteousness be said to rule where such tyranny exists? The best manhood and womanhood of the world arose and allied itself with

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

イスラエル物語

□最新刊□
四六判　四百八十頁
定價金貳圓
送料金十二錢
喜多村進氏裝幀

大橋房子著

曩に婦人矯風會が賞を懸けて『男女貞操論』を募るや、これに應じて第壹等の名譽を贏ち得たのは實に本書の著者である。

著者は本書を編せんがため深くイスラエルの建國四千年の歷史を研究し遂にその優雅なる筆致と淸新なる着想とを縱橫に驅使してこの一大長篇を成したのである。結構の妙、叙述の爽かなるは世にありふれた飜譯物と同日の論でない。

小說として讀むに興盡きず、お伽噺として繙くも面白く、修身書、人文史として見るも亦有益である。

□わが國五千の日曜學校、三十萬の基督信徒諸君に敢て此物語を薦む。

□有島武郎・森本厚吉共著
リビングストン傳
定價九十五錢　送料六錢　第四版

□ペエトン著・山崎粲譯
傳道美談 **食人島の曙**
定價八十錢　送料六錢　最新刊

□アボット著・竹崎八十雄譯
隣れる部屋
定價四十五錢　送料二錢　最新刊

□安井哲子著
久堅町にて
定價一圓二十錢　送料十二錢　第二版

版元　東京市京橋區尾張町　振替口座東京五五三　警醒社書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕(但祭日及日曜の他)
院長診察月、木、金午前及木午後六時
林、峯間兩副院長は目下當院に在勤

東京、麹町區三番町三十番地(市ヶ谷見附内)

電話六二番 番町五一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副院長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後(但祭日及日曜の他)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第二百六十四号（第三種郵便物認可）（毎月一回発行）【本誌一部定価金九銭】

清新の香味最も心地好き

ライオン煉歯磨（チューブ入）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA